「各種疾患における好中球空胞形成の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学国際医療センターIRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2025/1/4～2025/4/30の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、血液検査を行った患者のうち、好中球に空胞形成が認められた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

血液細胞では好中球に空胞形成が認められることがある。特に重篤な感染症では空胞形成を呈することが多いとされています。今回、当院で提出された血液検査検体で好中球に空胞形成が認められた場合に、その背景にある疾患と空胞の性状を解析することにより、好中球に見られる空胞形成の疾患における意義を明らかにしたいと考えています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年9月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

好中球に空胞形成が認められた患者さんの年齢、性別、罹患疾患、炎症マーカー（血算、白血球分画および形態、CRP、prp calcitonin、presepsin）や肝腎機能結果、抗菌薬を含む投与されている薬剤情報。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である木下博美が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

血液検査を行った患者のうち、好中球に空胞形成が認められた患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 中央検査部 木下博美（研究代表者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 中央検査部 木下博美

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4383（土日祝日を除く 8：00～17：00）

○研究課題名：各種疾患における好中球空胞形成の検討

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 中央検査部 木下博美